

# 2023年漁業センサス海面漁業調査

～ 漁業経営体調査結果（概数値）の概要 ～

漁業センサスは、漁業の生産構造、就業構造を明らかにし、漁村、水産物流通・加工業等の漁業を取り巻く実態と変化の総合的な把握や、水産行政の推進に必要な基礎資料の整備を目的として実施する統計調査で、今回は15回目にあたります。

令和5年11月1日現在で、全国で実施された2023年漁業センサス海面漁業調査のうち、漁業経営体調査の主要事項について兵庫県の結果をまとめました。

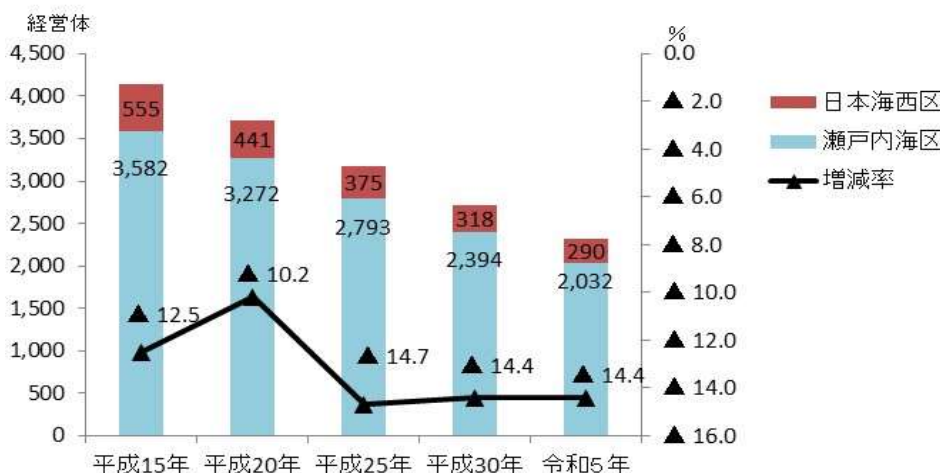
## 1 漁業経営体

～ 海面漁業経営体数は2,322経営体 ～

海面漁業経営体数は2,322経営体(全国第8位)で、前回に比べ390経営体(14.4%)減少しました(全国は17.0%の減少)。

海区別では、日本海西区で28経営体(8.8%)減少、瀬戸内海区で362経営体(15.1%)減少しました。

図1 漁業経営体数の推移



経営組織別にみると、個人経営体は1,902経営体(全国第13位)、団体経営体は420経営体(同第2位)で、前回に比べ個人経営体で345経営体(15.4%)減少、団体経営体で45経営体(9.7%)減少しました。

表1 経営組織別漁業経営体数

単位：経営体

経営組織	計				増減(令.5-平.30)		日本海西区		瀬戸内海区	
	令.5	構成比	平.30	構成比	実数	増減率	令.5	平.30	令.5	平.30
		%		%		%				
計	2,322	100.0	2,712	100.0	△390	△14.4	290	318	2,032	2,394
個人経営体	1,902	81.9	2,247	82.9	△345	△15.4	248	280	1,654	1,967
団体経営体	420	18.1	465	17.1	△45	△9.7	42	38	378	427
会社	79	3.4	67	2.5	12	17.9	41	36	38	31
漁業協同組合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
漁業生産組合	1	0.0	1	0.0	0	0.0	1	1	-	-
共同経営	340	14.6	397	14.6	△57	△14.4	-	1	340	396
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注：共同経営とは、二つ以上の漁業経営体(個人又は法人)が、漁船、漁網等の主要生産手段を共有し、漁業経営を共同で行うものであり、その経営に資本又は現物を出資しているもの。

注：構成比は、小数点第2位を四捨五入した。このため、合計が100.0と一致しない場合がある。(以下同じ。)

## 2 漁業就業者数 ～ 漁業就業者数は 3,947 人 ～

漁業就業者数は 3,947 人で、前回に比べ 893 人（18.5%）減少しました（全国は 20.1%減少）。

年齢階層別にみると、65 歳以上の漁業就業者が 1,266 人と全体の 32.1%を占めています（全国は 39.2%）。

**表 2 年齢階層別漁業就業者数**

区分	令. 5		平. 30		増減(令. 5-平. 30)	
	数 (人)	構成比 (%)	数 (人)	構成比 (%)	実数 (人)	増減率 (%)
計	3,947	100.0	4,840	100.0	△ 893	△ 18.5
15～19歳	32	0.8	48	1.0	△ 16	△ 33.3
20～24	145	3.7	185	3.8	△ 40	△ 21.6
25～29	189	4.8	205	4.2	△ 16	△ 7.8
30～34	185	4.7	312	6.4	△ 127	△ 40.7
35～39	267	6.8	321	6.6	△ 54	△ 16.8
40～44	310	7.9	376	7.8	△ 66	△ 17.6
45～49	356	9.0	464	9.6	△ 108	△ 23.3
50～54	405	10.3	490	10.1	△ 85	△ 17.3
55～59	406	10.3	455	9.4	△ 49	△ 10.8
60～64	386	9.8	487	10.1	△ 101	△ 20.7
65～69	376	9.5	491	10.1	△ 115	△ 23.4
70～74	384	9.7	409	8.5	△ 25	△ 6.1
75歳以上	506	12.8	597	12.3	△ 91	△ 15.2

自営・雇われ別にみると、個人経営体の自家漁業のみに従事した者は 1,462 人で、前回に比べ 350 人（19.3%）減少しました。また、漁業従事役員は 1,141 人、漁業雇われは 1,344 人で、前回に比べ漁業従事役員は 187 人（14.1%）、漁業雇われは 356 人（20.9%）減少しました。

**表 3 自営・雇われ別漁業就業者数**

区分	単位：人					
	令. 5	構成比	平. 30	構成比	増減(令. 5-平. 30)	
					実数	増減率
		人	%	人	%	%
漁業就業者数 計	3,947	100.0	4,840	100.0	△ 893	△ 18.5
自家漁業のみに従事	1,462	37.0	1,812	37.4	△ 350	△ 19.3
うち新規就業者数	4	0.1	3	0.1	1	33.3
漁業従事役員	1,141	28.9	1,328	27.4	△ 187	△ 14.1
漁業雇われ	1,344	34.1	1,700	35.1	△ 356	△ 20.9

### 3 漁船

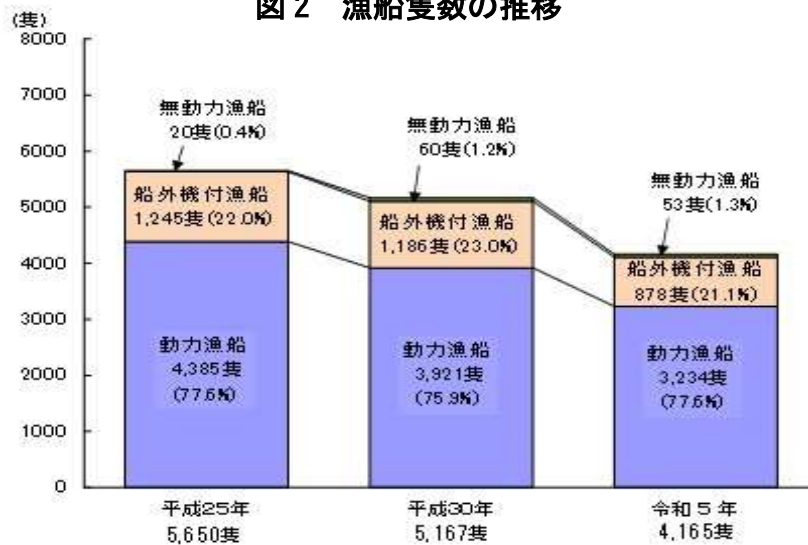
～ 動力漁船が全体に占める割合は 77.6% ～

漁業経営体が調査期日前1年間に漁業生産に使用し、調査期日現在保有している漁船の総隻数は4,165隻で、前回に比べ1,002隻(19.4%)減少しました(全国は17.4%の減少)。

漁船隻数を種類別にみると、動力漁船が3,234隻(全体に占める割合77.6%)、船外機付漁船が878隻(同21.1%)で、前回に比べ、動力汽船は17.5%、船外機付漁船は26.0%減少しました。

※調査期日前1年間：令和4年11月1日～令和5年10月31日

図2 漁船隻数の推移



### 4 個人経営体

～ 専業が全体に占める割合は 48.3% ～

個人経営体は1,902経営体で、専業は918経営体(全体に占める割合48.3%)、兼業は984経営体(同51.7%)で、前回に比べ、それぞれ185経営体(16.8%)、160経営体(14.0%)減少しました。

図3 専兼業別個人経営体数の推移



個人経営体の基幹的漁業従事者（個人経営体の世帯員のうち、満 15 歳以上で時価漁業の海上作業従事日数が最も多い人）を年齢階層別にみると、60 歳以上の経営体が 1,133 経営体（全体に占める割合 59.6%）で、前回に比べ 0.3 ポイント低下しました。

一方、70 歳以上の経営体数は 680 経営体（同 35.8%）で、前回に比べ 6.7 ポイント減少しました。

**表 4 基幹的漁業従事者の年齢階層別個人経営体数**

区分	令. 5	構成比	平. 30	構成比	増減（令. 5-平. 30）	
					実数	増減率
計	経営体 1,902	% 100.0	経営体 2,247	% 100.0	経営体 △ 345	% △ 15.4
海上作業従事世帯員がいる	1,901	99.9	2,240	99.7	△ 339	△ 15.1
15 ～ 29 歳	33	1.7	34	1.5	△ 1	△ 2.9
30 ～ 34	43	2.3	56	2.5	△ 13	△ 23.2
35 ～ 39	68	3.6	66	2.9	2	3.0
40 ～ 44	74	3.9	110	4.9	△ 36	△ 32.7
45 ～ 49	130	6.8	181	8.1	△ 51	△ 28.2
50 ～ 54	191	10.0	238	10.6	△ 47	△ 19.7
55 ～ 59	229	12.0	226	10.1	3	1.3
60 ～ 64	209	11.0	273	12.1	△ 64	△ 23.4
65 ～ 69	244	12.8	327	14.6	△ 83	△ 25.4
70 歳以上	680	35.8	729	32.4	△ 49	△ 6.7
海上作業従事世帯員がない	1	0.1	7	0.3	△ 6	△ 85.7

自家漁業の後継者（満 15 歳以上で調査期日前 1 年間に漁業に従事した者のうち、将来、自家漁業の経営主になる予定の人）がいる個人経営体数は 279 経営体で、全体に占める割合は 14.7%と前回に比べ 1.1 ポイント低下しました（全国は 16.9%）。

**表 5 後継者がいる経営体階層別個人経営体数**

区分	令. 5	県		平. 30	県	
		うち、後継者あり			うち、後継者あり	
		経営体数	割合		経営体数	割合
計	経営体 1,902	経営体 279	% 14.7	経営体 2,247	経営体 306	% 13.6
（沿岸漁業層）	1,817	255	14.0	2,140	258	12.1
海面漁業漁船使用	1,666	216	13.0	1,958	205	10.5
無動力漁船のみ	-	-	-	-	-	-
船外機付漁船	174	10	5.7	206	13	6.3
動力漁船使用（総10トン未満）	1,399	199	14.2	1,657	181	10.9
大型定置網	-	-	-	-	-	-
さけ定置網	-	-	-	-	-	-
小型定置網	34	2	5.9	34	7	20.6
漁船非使用階層	59	5	8.5	61	4	6.6
海面養殖	151	39	25.8	182	53	29.1
ぶり類養殖	1	1	100.0	1	1	100.0
まだい養殖	2	0	0.0	2	2	100.0
ひらめ養殖	-	-	-	-	-	-
とらふぐ養殖	2	0	0.0	5	4	80.0
かき類養殖	53	15	28.3	48	18	37.5
その他の貝類養殖	5	1	20.0	3	0	0.0
くるまえば養殖	1	0	0.0	3	0	0.0
こんぶ類養殖	2	0	0.0	-	-	-
わかめ類養殖	33	8	24.2	47	12	25.5
のり類養殖	52	14	26.9	76	16	21.1
（中小漁業層）						
動力漁船使用（総10トン以上総1,000トン未満）	85	24	28.2	107	48	44.9
（大規模漁業層）						
動力漁船使用（総1,000トン以上）	-	-	-	-	-	-

※これらの数値は概数値であり、後日農林水産省が公表する数値が確報値となります。